

吾妻連峰・特別保護地区内動物捕獲等調査報告書

2007年 1月31日

環境科学研究センター

1. 調査目的

吾妻連峰特別保護地区内において、過去の文献等により生息が予想されながらも、近年の生息状況が不明であった6種（ヒメクロオサムシ、チビゴミムシ種群、イブキヒメギス、カオジロトンボ、アシボソネクイハムシ、ミヤマミズスマシ）の生息状況を把握するとともに生息場所における植物相について調査し、今後の保全対策を立てる上での基礎資料を得る。

2. 調査日時および範囲（いずれも山形県米沢市、図-1 参照）

（1）第1回目：2006年8月17日 白布峠～馬場谷地～西大巔（天候：晴～小雨）

（2）第2回目：2006年9月9日 天元台～人形石～弥兵衛平湿原（天候：晴）

3. 調査者

（1）渡邊潔・伊藤聡（県環境科学研究センター）

（2）渡邊潔（県環境科学研究センター）、沢和浩（山形県野生植物調査研究会）

4. 調査方法

地表性昆虫以外の昆虫及び植物は目視調査による確認及び捕虫網による捕獲を行った。地表性昆虫は石返しによる採集を行なった。

調査に当っては、環境省等関係機関の許可を得て実施した。

写真1

藤十郎付近池塘の状況



図 - 1
調査位置概略図



5. 調査結果

調査対象として選定した昆虫種ごとに調査結果の概要を記す。また、今回の調査で確認された種のリストを末尾に記す。なお、()内は絶滅危惧種の県、国のカテゴリー区分で、CRが最も危険度が高くEN、VU、NTのランク順である。DDは情報不足である。

(1) ヒメクロオサムシ(オサムシ科)*Tomocrabus opaculus shirahatai* (県NT、国-)

吾妻山および飯豊山が日本における生息地の南限であり、孤立した重要な個体群であるが、吾妻山では福島県側で少数が確認されているのみで、山形県側における生息の有無は不明であったため、特に重点的に調査を行った。飯豊山において礫地に生息することを確認していたため、2005年に引き続き人形石、西大巔の2ヶ所の礫地において重点的に調査を行ったが、生息を確認することはできなかった。天候の影響も考えられるため、今後さらなる調査を要する。本来、山形県側にはガレ場のある好適な生息環境も乏しいが、人形石およびカモシカ展望台付近においては、生息の可能性が否定できないため、引き続き調査を行なう必要がある。

(2) クロサワナガチビゴミムシ(オサムシ科)*Trechiana kurosawai*

吾妻山の広い範囲で確認されているが、生息環境に関する情報が乏しかった。吾妻山の固有種であるため、保全の対象としても重要であり、現況の調査を行った。2005年は、近隣に生息する近似種の生態から類推して、弥兵衛平において雪渓脇の石下を重点的に調査したが、発見できなかった。

今年度は、文献調査により、吾妻山では飯豊山等と比較して積雪量が少なく、針葉樹林帯の石下で得られたことが分かったため、人形石、西大巔付近の針葉樹林帯において石下を中心に調査したが、確認できなかった。今後は既知産地等での追認を継続して行う必要がある。

(3) カオジロトンボ(トンボ科)*Leucorrhinia dubia orientalis* (県NT、国-)

1960年代後半の調査で生息が確認されており、2005年はその生息範囲に重点を置いて調査を行った。その結果、藤十郎付近の池塘周辺および弥兵衛平全域の2つの分布域を確認したが、ともに生息実態を十分に把握するまでには至らなかった。

今年度は2005年に確認した生息範囲において、引き続き生息実態を明らかにするための調査行なった。調査当日の天候は晴れであったが、結果としては、藤十郎周辺では確認することができず、弥兵衛平においては、三日月湖付近において成虫1個体を確認したのみであった。確認個体は羽が痛んでおり、まもなく成虫の活動時期が終わろうとしているものと考えられた。2005年と今年度の調査結果から、成虫の活動終了時期は、年による変動はあるとしても、概ね9月上旬頃と推定された。今回の調査は、十分なモニタリングではないため、次年度も羽化時期に重点を置いて調査をするなど、モニタリングを継続する必要がある。

(4) イブキヒメギス種群 *Eobiana* sp.

分類学的に問題が多く、飯豊山のものはイブキヒメギスと近似種ハラミドリヒメギスの中間型とされることもあり、吾妻山のものはバンダイヒメギスと呼ばれることもある。2005年調査では、針葉樹林帯の天元台から弥兵衛平の草原にいたるまで広く生息が確認でき、上記分類学的混乱の解消のために標本の採集に努めた。

今年度は、2005年に確認した生息範囲において、引き続きモニタリング調査を行な

った。その結果、針葉樹林帯、人形石では確認できず、弥兵衛平の三日月湖周辺の草原においてのみ確認した。今後ともモニタリングを継続し、実態解明に努める必要がある。

(5) ミヤマミズスマシ *Gyrinus reticulatus*

弥兵衛平の池塘に生息し、高山帯池塘の生息環境におけるモニタリング指標になる種である。2005 調査は、1960 年代に確認されていた三日月湖のほか、過去に生息が確認されていなかった名月湖でも生息を確認した。

今年度は、2005 年に確認した三日月湖及び名月湖のほかに、新たに明星湖においても調査行なった。その結果、全ての湖において生息を確認した。今後ともモニタリングを継続し、実態解明に努める必要がある。

(5) アシボソネクイハムシ *Donacia gracilipes* (県 NT、国 -)

2005 年調査では、食草ホソバタマミクリを藤十郎周辺の池塘、弥兵衛平湿原のなかの三日月湖およびやや西方のもうひとつの池塘に自生を確認し、アシボソネクイハムシについては、藤十郎周辺の池塘と三日月湖ではホソバタマミクリ群落に近づけなかったため調査できなかったが、もうひとつの池塘では生息を確認した。当該種は湿原環境のモニタリング指標種として重要であるが、1960 年代当時「多産」と書かれていた状況からはほど遠く、3 個体の成虫を確認したのみであった。

今年度は、2005 年に確認した場所を中心に調査したが、いずれも確認できなかった。



写真1:イブキヒメギス(弥兵衛平湿原)



写真2:ミヤマミズスマシ(弥兵衛平湿原)

6. 今後の予定

今回の磐梯朝日国立公園(吾妻地区)特別保護地区内動植物捕獲調査で申請した昆虫類9種、ヒメクロオサムシ(NT)、チビゴミムシ種群、イブキヒメギス種群、カオジロトンボ(NT)、アシボソネクイハムシ(NT)、ミヤマミズスマシ、ギンボシヒョウモン(NT)について、モニタリング調査を継続する。調査期間は平成17年度から平成19年度までの3年で、平成19年度中に成果をまとめる予定である。

注) NT:山形県レッドデータブック準絶滅危惧種、要注目:同要注目

< 確認した生物種のリスト >

1 2006.8.17(渡邊、伊藤) 曇り

白布峠～馬場谷地 地況：森林、馬場谷地のみ湿地

(昆虫) アキアカネ、ヒメキマダラヒカゲ

(鳥類) シジュウカラ、コガラ、メボソムシクイ

(植物) ノリウツギ(花)、リョウブ(花)、ヨツバヒヨドリ(花)、ヤマハハコ(花)、ヤマブキ
ショウマ(花)、ガンクビソウ、クロヅル(花)、カニコウモリ(花)、オニアザミ(花)、ツル
アリドオシ(花)、ゴゼンタチバナ(実)、ツルリンドウ(花)、オゼミズギク(花)、ウメバチ
ソウ(花)、タチギボウシ(花)、ミヤマアキノキリンソウ(花)、エゾオヤマリンドウ(花)、
シロバナトウウチソウ(花)

馬場谷地～西大巔 地況：森林、西大巔山頂のみ小規模ガレ場

(昆虫) コエゾゼミ、コクロナガオサムシ 1

(鳥類) ウグイス、ルリビタキ、ウソ、ホシガラス、メボソムシクイ

(植物) ヒロハユキザサ(実)、アリドオシラン(花)、ネコシデ、カニコウモリ(花)、サンカ
ヨウ(実)、ギンリョウソウ、ゴヨウイチゴ、パイカオウレン、アキノキリンソウ(花)、
モミジカラマツ(花)、イブキゼリモドキ(花)、ズダヤクシュ(花)、オオバタケシマラン(実)、
イワオトギリ(花)、クロトウヒレン(花)、ハクサンシャジン(花)、ナンブタカネアザミ(花)、
シラネニンジン(花)、ミヤマホツツジ(花)、ミヤマコゴメグサ(花)、エゾシオガマ(花)、
エゾオヤマリンドウ(花)、ミヤマリンドウ(花)、オオバスノキ(実)、ハクサンシャクナゲ
(花)、アオジクスノキ(実)、ミヤマワラビ、ミヤマメシダ、オオバショリマ

2 2006.9.9(渡邊、沢) 晴 天元台～人形石～藤十郎～弥兵衛平～弥兵衛平湿原(往復)

天元台～リフト終点 地況：草原、森林

(昆虫) アサギマダラ、キタテハ、ツバメシジミ

(植物) ヤマハハコ(花)、ヨツバヒヨドリ(花)、エゾオヤマリンドウ(花)、ブタナ(花)、オオ
キンケイギク(花)、ノリウツギ(花)、ゴマナ(花)、アキノキリンソウ(花)、ヒカゲノカズ
ラ(花)、クロヅル(花)

リフト終点～人形石 地況：森林、人形石ガレ場

(昆虫) アキアカネ、ミヤマハンミョウ

コウガイビル

(植物) モミジカラマツ(実)、カニコウモリ(花)、オオバタケシマラン(実)、ヒロハユキ
ザサ(実)、ウメバチソウ(花)、ミヤマリンドウ(花)、ネバリノギラン(実)、コメバツガザ
クラ(花)

人形石～弥兵衛平分岐 地況：稜線、草原、湿地(所々池塘あり)

(昆虫) アオイトトンボ

(植物) イワオトギリ(花)、ミヤマリンドウ(花)、ミヤマアキノキリンソウ(花)、ナンブ

タカネアザミ(花)、ゴゼンタチバナ(実)、エゾオヤマリンドウ(花)、ウメバチソウ(花)、タカネハリスゲ(県 NT、国 VU) (実)、ミヤマホタルイ(花・実)、コイヌノハナヒゲ、イワイチョウ(花)、ダケスゲ(県 CR、国 VU)(実)、モウセンゴケ(紅葉)、エゾオヤマリンドウ(花)、ホソバタマミクリ(県 VU、国 -)、テングノコズチ(県 CR、国 EN)(花)、ミタケスゲ(実)、シラタマノキ(実)、キンコウカ(実)

弥兵衛平湿原(名月湖～明星湖) 地況：湿地、池塘等

(昆虫) アオイトトンボ、アキアカネ、カオジロトンボ(県 NT、国 -)、ミヤマミズスマシ、イブキヒメギス種群 8(明星湖付近のみ)、キベリタテハ、ヒオドシチョウ

(鳥類) シジュウカラ

(植物) ダケスゲ(県 CR、国 VU)、ホソバタマミクリ(県 VU、国 -)、ウメバチソウ(花)、コバノトンボソウ(花)、ツルコケモモ、ヒメシャクナゲ(県 VU、国 -)(花)、ムラサキミズゴケ、ヒメミズニラ(県 EN、国 VU)、オオヌマハリイ、コイヌノハナヒゲ、カワモズク sp.